

Bio Odor Lock-50 の主な利点

- ・ 臭気の原因である、糞尿を生体内から良好な状態に近づけます。
- ・ 発酵した糞尿は、堆肥化する為に発酵する最適な状態をつくります。

腸内環境を最適な形で整えることは、畜種を問わず糞尿からの臭気の発生を抑えることに繋がります。堆肥化を行う場合でも、家畜から排泄される段階で発酵するのに最適な状態に近づけることは、堆肥化を行う過程での臭気を抑えることに繋がります。

【飼料の種類】	植物抽出発酵液吸着混合飼料
【原材料名】	植物抽出発酵液 (松、笹、ビワ、梅、イチジク、栗、桃、柿の葉から抽出) 無水ケイ酸、焼酎かす、麦ぬか、 米ぬか油かす
【対象畜種】	鶏、豚、牛用
【推奨給与量】	鶏 : 飼料1トン当り 0.05~0.2% 豚 : " 0.08~0.2% 牛 : " 0.15~0.3% 最初の1ヶ月間は最大推奨量での給与をお勧めします
【保存上の注意】	しゃ光した密閉容器に保存すること
【製造業者の名称及び住所】	ロック化学製品株式会社 東京都目黒区碑文谷 5-29-10
【製造事業場の名称及び所在地】	ロック化学製品株式会社御殿場工場 静岡県御殿場市神場 3-17

本製品は天然物を使って製造されているため、色状にバラツキがある場合があります。
予めご承知おきの上ご使用下さい。

本製品は株式会社フォーレストとの提携製品です。
同社の「バイオ酵素 K (植物抽出発酵液)」をロック化学製品(株)の独自技術で粉体化致しました。
これにより、いままでの飲水添加に加え飼料添加もできるようになりました。
両社の企業努力により粉体化のコストアップも抑えられたことで、利便性が大幅に向上しました。

お求めの場合には、特約店または、弊社営業担当者へお尋ねください。

 **ロック化学製品株式会社**




フォーレスト
FOREST. CO., LTD.

バイオの技術と天然成分のチカラ

今まで様々な臭気対策を行ってきたけれどなかなかうまくいかない・・・
糞尿を堆肥として利用したいけれど臭いがつよくて使えない・・・

そんなお悩みの解決方法！！

昔から言い伝えられてきた
植物のチカラ、天然成分のチカラ
バイオのチカラを利用してみませんか？

特殊な製法

が驚きと喜びをお届けします！？

・・・畜産と栽培の共栄のための架け橋が期待できる・・・

Bio Odor Lock-50

(バイオ オド ロック -50)



松

笹

ビワ

梅



イチジク

栗

桃

柿

 **ロック化学製品株式会社**



Bio Odor Lock-50

Bio Odor Lock-50 の原料

松・笹・ビワ・梅・イチジク・栗・桃・柿の葉の8種類からなる植物抽出物に、オカラ・糖蜜を加え、特殊な発酵で生産された天然液体成分を使用しております。

特殊な発酵とは、

上記原料を乳酸発酵からスタートさせ、その環境下で生育できる有用微生物を使って再び発酵させます。

更にその環境下で生育できる有用微生物でまた更に発酵させる・・・を連続的に繰り返し、

有用微生物での循環作用を継続させる事で産生される微生物酵素を生み出す手法です。

「有機・生物的情報エネルギー触媒を用いた自然浄化作用を引き出す」という(株)フォーレスト独自の発酵法です。

Bio Odor Lock-50 は

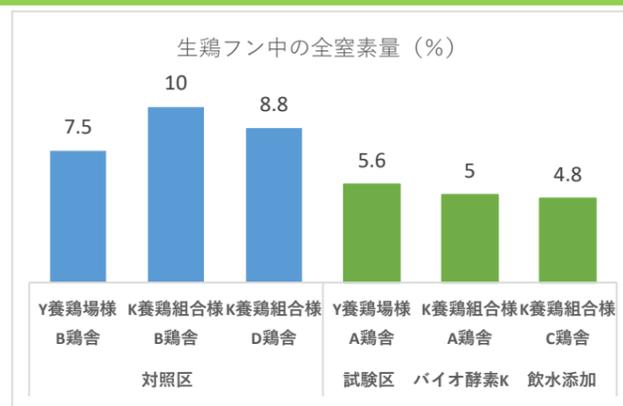
特殊な発酵で製造された天然成分を損なわないように、「長時間かけて丁寧に中温乾燥させる」

ロック化学製品(株)の独自技術を使って濃縮・吸着し粉状に仕上げました。

飼料添加により、腸管内での排泄物の腐敗防止までも期待できます。

生鶏糞中空窒素量比較試験

複数の農場において、生鶏フン中の全窒素量について、比較試験を行った。

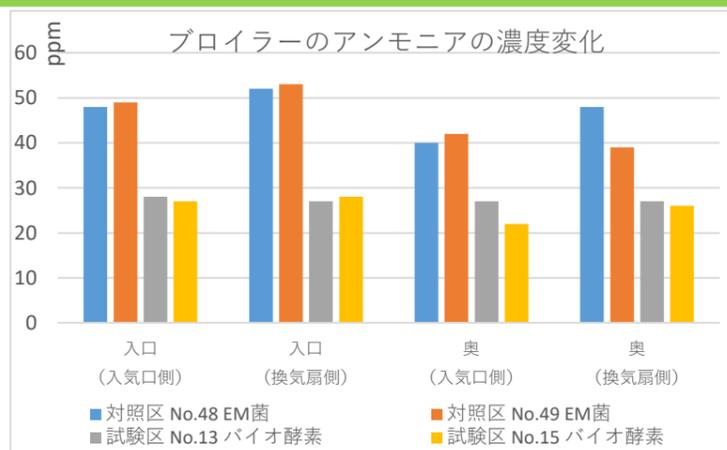


試験の結果、どの農場においても、生鶏フン中に占める窒素の割合が、対照区に比べて、試験区では大幅に削減された。

窒素量が減少したことは飼料中のタンパク質利用率が向上したことを意味しており、臭気対策としてのみならず、栄養素の吸収する器官である腸の細菌叢が、生体内で取り込まれる栄養素として、消化したものと考えられる。

ブロイラーでのアンモニア濃度変化試験

鶏舎内4か所で、7時間連続吸引を行い、アンモニア濃度の平均値をグラフ化したものです。



試験区の方が、対照区に比べて、明らかに差があった。

腸内細菌叢が有益菌優位であることで、発酵が促進され、

結果として、未消化のタンパク質が少ないことで、アンモニアの発生が明らかに少ない状態となった。

採卵鶏 育雛・育成農場試験

出荷体重が平均値よりも大きく、飼料摂取量についても、平均値よりも少なくなりました。

臭気改善が目標であったものの、

腸内環境の改善につながることで、

成績改善に期待できるものと考えます。

なお、臭気については、元々低い値ではあったため、

体感的には変化が見られなかったということでした。

しかし、計測を行った結果、数値は下がっていました。

	試験区	2012年 平均値	評価
出荷体重	1233g/羽	1192g/羽	対照区より、41g/羽多い
斉一性	6.09	6.844	0.754の改善
最終生存率	98.99%	98.62%	有意差なし
飼料摂取量	5,209g/羽	5,485g/羽	対照区より、276g/羽少ない

アンモニア数値			試験設定
日程	試験区	対照区	
12月10日	4ppm	5ppm	試験農場：育雛・育成農場
12月11日	5ppm	5ppm	試験羽数：約50,000羽 1ロット
12月12日	4ppm	6ppm	Bio Odor Lock-50添加率：0.2%
12月15日	4ppm	6ppm	給与期間：1週齢～出荷まで
12月16日	3ppm	5ppm	(餌付け除く)
12月17日	4ppm	7ppm	試験期間：2012年9月～12月

有機物は変化の過程において、腐敗と発酵の2種類が存在します、

畜産において、腐敗や発酵は飼料や堆肥製造のみならず、家畜の腸内でも行われます。

腐敗するか、発酵するかは、環境によって左右され、腸内では腸内細菌叢が鍵です。

腸内細菌叢が健全に保たれ、善玉菌優位である場合、発酵を行います。

しかし、腸内細菌叢が崩れ、悪玉菌優位である場合、腐敗してしまいます。

腐敗することは、悪臭を放つ原因となります。

腐敗の原因になりえる腸内細菌叢に対して根本的な対策を行うことで、

臭いを軽減させることを目的としている製品が、Bio Odor Lock-50 です。

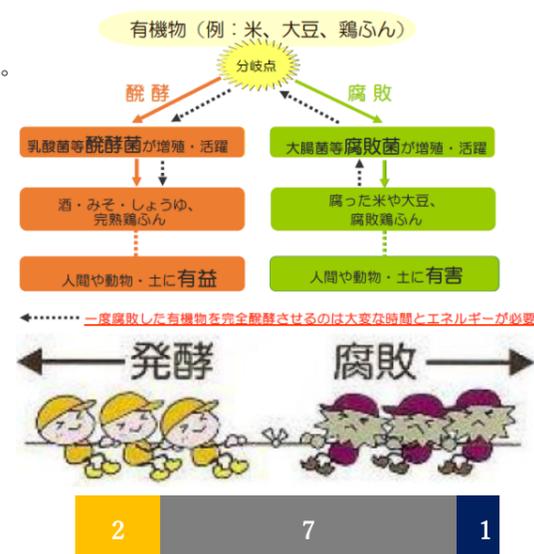
臭いの根本的な原因であるフンができる場所である腸内細菌叢を整えることは、

臭気対策としての機能のみならず、飼料効率の向上の可能性や

生菌剤などの、すでに使用している製品が有用に活用される可能性があります。

腸内細菌叢を健全に整えることで、善玉菌優位な状態を構築・維持することで、飼料は効率的に利用され、腐敗の機会を減少させます。

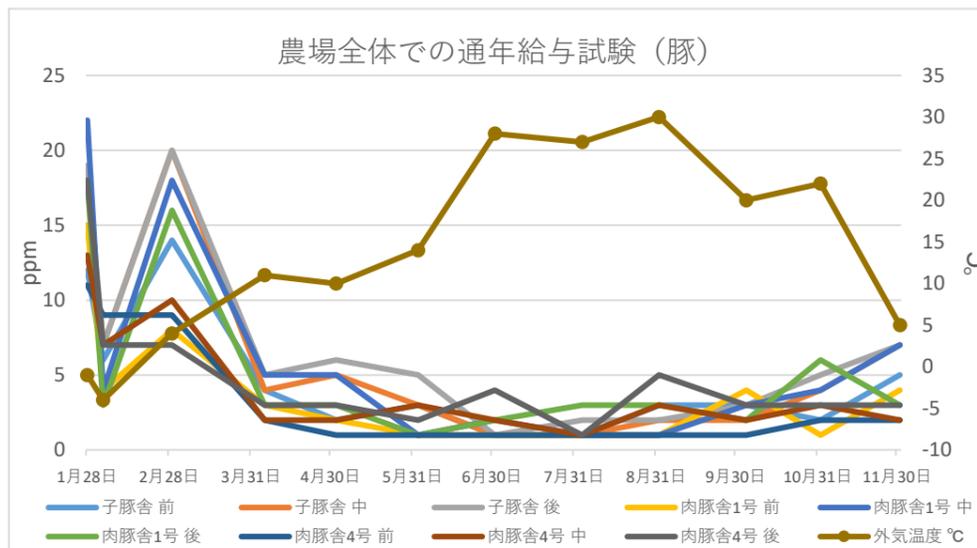
Bio Odor Lock-50 は腸内細菌叢の改善が期待できる、プレバイオティクスとしての役割を果たします。



養豚農場における年間給与試験

実施期間：2001年1月28日から2002年2月3日まで

母豚頭数：♀400頭



肥育豚舎におけるアンモニア数値測定試験

肥育舎を分けて、試験区にはBio Odor Lock-50を0.2%添加した飼料を与えた。

日付	試験区				対照区		
	除糞機	入口(18頭)	中間(8頭)	奥(通路)	入口(3頭)	中間(9頭)	奥(通路)
6月4日	Bio Odor Lock-50 0.2%添加 開始				—	—	—
6月8日	2ppm	5ppm	2ppm	8ppm	—	—	—
7月6日	1ppm	2ppm	2ppm	3ppm	5ppm	4ppm	5ppm
8月7日	1ppm	出荷	2ppm	1ppm	5ppm	6ppm	5ppm
9月3日	1ppm	5ppm	1ppm	0ppm	5ppm	17ppm	5ppm

数値が下がったと実感できるまでに、

1ヶ月前後かかったものの、

Bio Odor Lock-50を給与した試験区では、

アンモニアを検知できない場所も見受けられた。

試験を行った農場担当者からは、

「肌に臭いがあまりまとわりつかなくなった」

「糞から腐敗臭がしなくなった」

といった報告があった。

また、腸内環境が改善されたことで、

糞便の形状も軟便のような状態から、

水分が抜け、以前よりも固形に近い状態へ変化した。